

第 1 回 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画検討委員会
議事要旨

日時：令和 6 年 10 月 02 日（木）14:00～16:00

場所：沖縄こどもの国 チルドレンズセンター 2 階

1. 開会

2. 説明 1) 第 1 回 沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会 資料説明

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
琉球バス	- 事例にある出雲市について教えて頂きたい。 - ウォーカブルを実現するには沖縄の暑さ対策も考えなければいけない。	(事務局) - 道路空間を活用した一例として記載している。 - ご意見を参考に検討を進めていきたい。
沖縄 総合事務局 開発建設部 道路建設課	- ウォーカブル推進計画策定に向けてはターゲットについてもしっかりと考えて頂きたい。 - 地域の人がどう利用し、どう移動しているか等についてビッグデータだけでなく、詳細に把握して取り組みに繋げることが重要である。	(事務局) ご指摘について、地域にあった形で検討していきたい。
沖縄 総合事務局 開発建設部 南部国道 事務所	- 自転車ネットワークについても検討する必要があるのではないかと。エリアのみならず、全体を考える必要がある。 - 防災についてどのような検討を考えているのか。	(事務局) - ネットワークの検討も重要と考えている。基本構想においても位置付けており、引き続き検討していきたい。 市、県、国で実施される整備検討委員会等、意見交換しながら防災の考え方を整理していきたい。

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
沖縄市 観光物産協会	ウォーカブルエリア推進計画を整理するにあたり、どういったイメージを持たれているのか教えて頂きたい。	(事務局) ウォーカブル推進計画について、バスを中心とした 3 つの通り(ゲート通り、国道 330 号、パークアベニュー)と、それに囲まれたエリアにおいて、歩いて楽しい空間を実現するための施策・理念・目標等を位置付けていきたいと考えている。
コザパルミラ 通り会	- 沖縄アリーナから一番街商店街までの導線が分かりづらい状況である。まちの賑わいは行政側では対応難しいのは理解できるため、ハード・ソフト両面について連携しながら取組を行っていく必要がある。 - 日中に歩いてもらうためには、暑さ対策が必要である。 - 沖縄県民への自転車の乗り方についても周知が必要である。	(事務局) - まちのコンテンツについては行政側では対応ができないため、今後も地域と連携しながら取り組んでいきたい。 - ご意見を参考に検討を進めていきたい。 - ご意見を参考に検討を進めていきたい。
胡屋 大通り会	社会実験について詳細な情報を教えて頂きたい。	(事務局) 【夜間バス】 - 夜間バスは、11 月の 9 日(土)～12 月 29 日(日)で運行予定。 - 時間は、夜の 10 時半と 11 時。 - 車両は大型バス 50 名程度。 - 料金は無料だが、利用条件にアンケート記入をお願いする予定。 【シェアサイクリング】 - ポート 7 ヶ所設置。 - 沖縄アリーナ、球場前のコザ運動公園 2 ヶ所、パルミラ通り、胡屋十字路 BC コザ、沖縄市役所、銀天街。 - アプリをダウンロードすることで利用可能。

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
委員長	沖縄市外の方は利用可能なのか。今後の周知方法も色々あると思うので、工夫頂きたい。	(事務局) 誰でも利用可能となっている。ご意見参考に進めていきたい。
委員長	- デザイン検討部会と社会実験との関係について教えて頂きたい。 2月の委員会において、検討内容を共有いただきたい。	(事務局) - デザイン部会では、まちの文化・歴史を踏まえ沖縄市らしいデザインを考える場のような機能として検討していくことを考えている。社会実験ではバスを想定してデータ取りをしたいと考えており、それぞれ進めていく予定である。 - 承知した。
胡屋ゲート 通り	ウォークブルについて、図を活用するなどして、もう少しイメージが分かるような資料構成にしていきたい。	(事務局) 承知した。
委員長	ウォークブルの整理にあたって、沖縄市と同じ条件の事例があるとよいのではないかと。	(事務局) 承知した。
沖縄 総合事務局 開発建設部 南部国道 事務所	道路占用等による賑わい創出についてはほこみち制度といったものもあるため、様々な制度を活用して取り組みを進めて頂きたい。	